

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	6 月	26 日	記入者	饗庭 美波子
調査者名	饗庭	垣内	久門		

文化財名	ヤマモモの巨樹				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1959年(昭和34)2月5日				
所在地	五條市西吉野町奥谷1048番地				
所有者 管理者	五條市				
員数	1株				
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) ヤマモモ			(樹齢) 推定300年以上	
案内板の状況	案内板は2カ所(現地から約1km、50mの地点)あり。説明板は巨樹の前にあり。				
公開	常時				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	指定年月日が奈良県指定文化財一覧とヤマモモの説明板とで相違しており、五條市によると、奈良県指定文化財一覧のものが正しいとのこと。説明板に表記されている指定年月日の修正を望む。				
今後の課題	現地に向かう際、案内板が2つあるが、その中間に出てくる四差路には何もなく、この四差路でかなり迷う。また、ヤマモモの説明板左横に、作家・直木三十五の石碑があるが、表裏ともに文字が不鮮明で読めない。四差路の案内板と石碑の解説について、将来的に設置を望みたい。				
その他 (由緒など)	ヤマモモは、中部地方以南の暖地に自生するヤマモモ科の常緑高木で、特に海岸線に沿って多く分布がみられる。海岸線から遠い奈良県で巨樹が存在するのは学術的に貴重であるため、天然記念物に指定された。幹周りは約4.3m(地上0.5m)、高さは約15m。現地は、明治時代に奥谷尋常小学校があった場所で、作家の直木三十五が4ヵ月間代用教員として赴任していた。				
コメント	ヤマモモの実は豊作と不作を隔年で繰り返すことが多いといわれ、実が成らない年もあるようだが、今年は豊作と思われるほどたわわに実っていた。真っ赤に色づいた実が一面に並ぶ様子を、もっとたくさんの人に見て欲しい。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	6 月	26 日	記入者	饗庭 美波子
調査者名	饗庭	垣内	久門		

文化財名	ヤマモモの巨樹
------	---------

全体	案内板
----	-----



説明板	作家 直木三十五の石碑
-----	-------------



ヤマモモの実	同左
--------	----

